

リアルタイムコンテスト規約

0. 実施に際しての意見

現在のコンテストには他の野球や将棋などの戦いとは大きな隔たりが存在いたします。それは自分の状況がわからないことです。この問題を解決することはコンテストの面白さを高め、新たなコンテストターの参入を促すと私たちは考えております。確かに、ネット環境に参加者を固定してしまう問題はございますが、オンラインコンテストとネットの通じないような山中で運用するオフラインコンテストを使い分けることで、コンテストの楽しみは増えると考えております。このコンテスト実施により、一層のアマチュア無線界隈の発展を目指しております。

1. 開催日時

令和4年2月中旬の土曜日 13時～16時

2. 参加資格

日本国内のアマチュア局でリアルタイムにログを提出可能な局

3. 使用周波数帯

3.5MHz/7MHz/14MHz/21MHz/28MHz/50MHz 帯
(JARL 規約に従う)

4. 参加部門及び種目

部門は以下の表の通りとする。

また、参加者は全ての部門に参加したとして得点の計算を行い、表彰を行う。

参加者は現在の自分の得点とその種目での順位を知ることができる。

部門	種目	
電信	シングル	3.5
		7
		14
		21
		28
		50
		ALL
	マルチ	ALL
電話	シングル	3.5
		7
		14
		21
		28
		50
		ALL
	マルチ	ALL
電信電話	シングル	3.5
		7
		14
		21
		28
		50
		ALL
	マルチ	ALL

5. 交信方法

(1) 呼び出し

- ① 電話の場合 CQ RT コンテスト (または CQ RT コンテスト)
- ② 電信の場合 CQ RT TEST (または CQ RT TEST)

(2) コンテストナンバー交換

次のナンバーを交換する。

- ・RST 符号による相手局のシグナルレポート

- ・ 自局の運用場所を示す都府県・地域等のナンバー

6. 得点及びマルチプライヤー

① 得点

第5項(2)に定めるコンテストナンバーの交換が完全に行なわれたリアルタイムにログ提出を行なっている局との交信を1点とする。

第5項(2)に定めるコンテストナンバーの交換が完全に行なわれたリアルタイムにログ提出を行っていない局との交信を0.5点とする。

同一バンドにおける重複交信(同一局との2回以上の交信) (注)：0点

(注)電波型式が異なる場合の同一局との2回以上の交信も重複交信。

② マルチプライヤー

交信相手局の運用場所を示す都府県・地域等。

ただし、バンドが異なれば同一都府県・地域等であってもマルチプライヤーとする。

7. 総得点の計算方法

(1) オールバンドの場合

〔各バンドにおける得点の和〕 × 〔各バンドで得たマルチプライヤーの和〕

(2) シングルバンドの場合

〔当該バンドにおける得点の和〕 × 〔当該バンドで得たマルチプライヤーの和〕

8. ログの提出方法

このコンテストに適応したロギングソフトを用いてリアルタイムに提出する

そのロギングソフトにより自動的に自分の順位および他の順位の局の点数(局名は非公表)がフィードバックされる

9. その他

JARL コンテスト規約に従う

10. 表彰

各種目の書類提出局には、その局数の 10%以内でかつ最大 7 位までの順位の局に賞状を贈る。

11. 失格事項等

(1) ログシートに記載されている交信または受信局のコールサイン等について審査の結果、明らかに虚偽の記載が認められた場合は失格とする。

(2) この規約に定める事項に違反した場合は、コンテスト審査において処分を決定する。この処分とは、減点、警告、エントリーのチェックログへの移行、失格等を言う。

12. 結果発表

異議申請期間として 3 日間設け、それにより確定をする。